

令和6年度 第1回 市民公益活動サポートセンター運営協議会 会議録（要録）

日時：令和6年10月11日（金）午前9時30分～11時10分

会場：ワークプラザ2階 会議室

出席委員：山口委員、山城委員、山岡委員、斉藤委員、藤崎委員、平川委員、
竹川委員（欠席：牧野委員、立崎委員、古賀委員）

事務局職員：川島市民部長、鴨志田所長（自治人権推進課長）、塚本主査補、榎

1. 開 会

9時30分 開会。

2. 委嘱状交付

事務局から、委嘱状を各委員に配布した。

3. 市民部長あいさつ

市民部長あいさつの後、事務局紹介及び委員の自己紹介を行った。

4. 委員長、副委員長選出

委員互選の結果、事務局推薦の山岡委員が委員長に、牧野委員が副委員長に、それぞれ選出された。

【委員長】

コロナが明け、活動が元に戻りつつあるが、コロナ禍が長引いた影響で、活動が停止してしまったり、メンバーが減ってしまった団体もあると聞く。そのような中、サポセンでは、事務局が工夫して、新しい時代に即した事業が行われている。12月1日には市民活動発表会があり、期待している。困難はあるが、今後も、市民活動が盛んになることを願っている。

会議では、活動における困りごとや事務局への希望等、忌憚のないご意見をいただきたい。

5. 会議の公開、会議録の作成方法の確認

- ・会議は原則公開。開催は、原則1週間前までに公表する。
- ・会議の傍聴は原則5人まで。（本日は傍聴希望者なし）
- ・会議後、会議録を作成し、ホームページにて公表する。

この後の議事運営は、委員長にお願いします。

6. 議 題

【委員長】

開催にあたり、佐倉市市民公益活動サポートセンターの管理及び運営に関する規則第14条第2項に、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない」と定められている。本日は、定数10名のところ7名の委員が出席しており、会議は成立している。

①市民公益活動サポートセンターの概要について

【委員長】

「①市民公益活動サポートセンターの概要について」、事務局の説明を求める。

(事務局から、資料「佐倉市市民公益活動サポートセンター概要」に基づき説明。その後、全員で市民公益活動サポートセンターに移動し、実際に施設や設備等を見ながら説明を行った。)

【委員長】

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

【C 委員】

施設を初めて見たが、若者にはあまり知られていないのではないかな。

事務局説明の中で「拠点があると活動は活発になる」という言葉が良く感じた。「サポセンはこういうところだ」というキャッチコピーを作るなど、工夫して若者に響くアピールをしてほしい。

【D 委員】

普段の活動からサポセンの施設を利用しているが、周囲の声を聴くと、サポセンは、他市の同様の施設と比べても優れているとのこと。施設・備品は便利だし、支援員が丁寧にサポートしてくれるのもよい。

【C 委員】

登録団体がイベント等の情報発信をする際、紙媒体だけだと、印刷の手間や、人による配架・配布などが必要で、不便なことも多い。事務局を通じて、メールアドレスを登録している団体にメール一斉送信できれば、手間が少なくて済むのではないかな。

→【事務局】手法について、今後研究する。

【議題】 ②令和 6 年度企画事業の進行状況について

【委員長】

「②令和 6 年度企画事業の進行状況について」、事務局に説明を求める。

(事務局から、議題②資料 1・2 に沿って説明)

【委員長】

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

【E 委員】

サポセンが作成している動画配信について。ショート動画は見やすいので、情報発信ツールとしてよいのではないか。

→ **【事務局】**

イベントの予告や報告等に関する情報発信に活用していきたい。

【F 委員】

和田地区では、市民協働やボランティアになかなか関心を持っていただけない。動画やポスター等を見てもらうことでボランティア意識が高まれば。地域の各種会議等でも、活動の中心は高齢者。今後の活動を担う若い世代の人材育成が課題。

→ **【事務局】**

30 代 40 代で地域活動と関わりがあるのが PTA 活動。和田地区の PTA 活動はどうか。

→ **【F 委員】**

和田小学校の児童数は 38 名。小規模特認校で、区域外から 10 名ほどいるため、保護者も少なく、PTA 活動があまりできていないのが実情。昔から行われてきたことでも続けることができなくなりつつある。

【G 委員】

市民活動デビュー講座について。去年は、対象を若者に限定して開催した結果、参加者が少なかったと聞いていたが、今回は対象を広げて人数が増えた(12 名)とのこと。詳細を教えてほしい。

→ **【事務局】**

年齢層は 30 代後半から 70 代の方まで。男女は半々。今回、高校の協力を得て周知を行ったが、高校生の参加はなかった。次回以降は周知方法をさらに工夫したい。

内容は、社会福祉協議会のボランティアセンターを講師に迎え、市内のボランティアの概要等に関する講義やグループワーク等の座学を行った。昨年は、実際に活動している団体を迎え、現場の声を聞いてもらった。

【E 委員】

海外ではボランティア文化が根付いている。日本では子どもたちが学校で掃除していることが海外から称賛されている（海外の学校の掃除は業者委託が多い）。ボランティアに対する意識付けを、子どもの頃から学校でスタートしていくことが大事だと感じる。

→【F 委員】

先日、地域の「敬老のつどい」に南部中の生徒が手伝いに来てくれた。高齢者のためになろうとしているのを感じた。

自分の行動が人に喜ばれることで、自分も喜びを感じる。そうやってボランティアが続いていく。これがボランティア意識を持つきっかけになれば、と期待している。こうした活動がもっと広がっていくと良い。

【議題】③その他

【委員長】

「【議題】③その他」ということで、本日の議題に限らず、市民公益活動に関することで、ご意見やご質問等があれば、自由にご発言いただきたい。

【H 委員】

福祉施設を訪問する団体活動を行っているが、コロナで訪問できる施設が減ってしまった。その後経営者が代わるなどして、訪問していた頃の情報が施設内で引き継がれていないようで、コロナが明けた後も訪問できないままになっている施設が少なくない。訪問できる施設には歓迎されるのだが、年に何回も行くわけにはいかず、難しさを感じている。

→【事務局】

市から個別の施設にアプローチするのは難しいが、引き続き団体活動の周知を行っていきたい。

【C 委員】

青年会議所は、人のため・まちのため・子どものための企画・事業を行っているが、あまり知られていないという課題がある。今日、この会議に出席したが、市民公益活動も同様の課題を持っていることがわかった。今日のような会議をはじめとする機会、それぞれがアピールできれば、もっと多くのかたと

触れ合うことで広がっていくのではないかな。

【委員長】

事務局からの連絡事項等は。

→【事務局】

次回の会議日程について。年度末の2，3月に開催を予定している。今回同様、委員の予定を事前に確認して調整する。ご協力いただきたい。

【委員長】

本日の議事は終了。委員の協力に感謝。

会議の議事録の署名人については、自分の他、G委員にお願いします。

進行を事務局にお返しする。

【事務局】

以上で令和6年度第1回運営協議会を終了。

(以上終了)

令和6年12月5日

議事録署名人

委員長 山岡 みち代

委員 平川 雄幸